

富士登山者の安全を守れ!

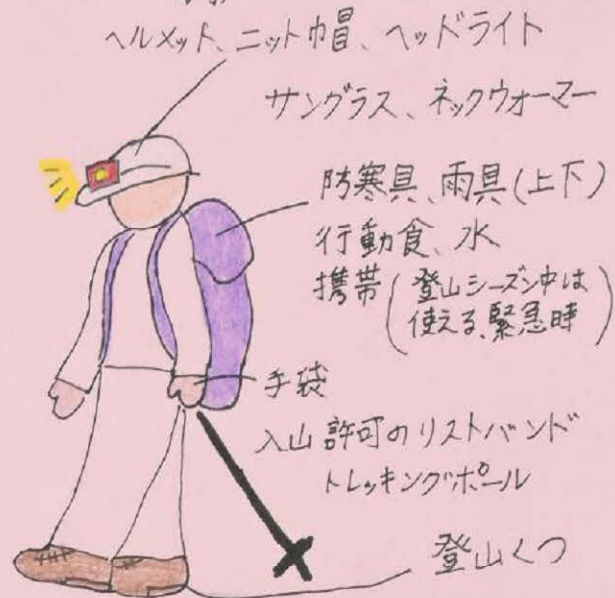
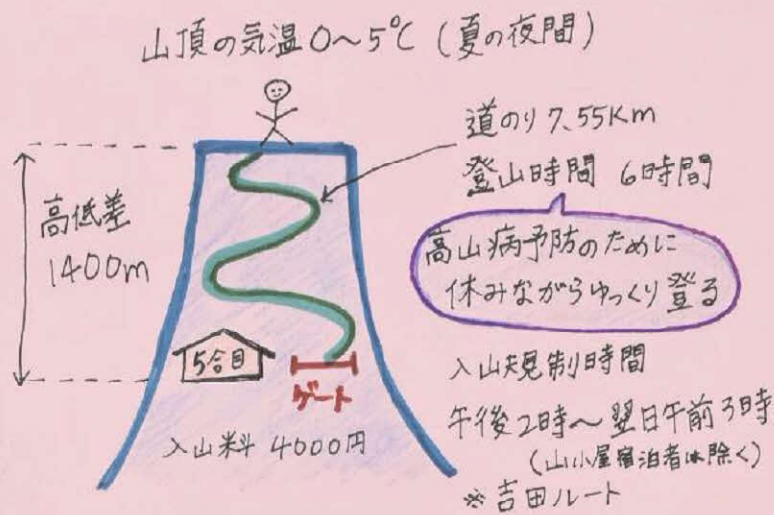
～ルール改定の効果と登山者の意識調査～

きっかけ ぼくは山梨県に住んでいる。県内ニュースでは弾丸登山の危険性や登山者の安全を守るためにルール改定がされている事がよく取り上げられていた。登山者にルール改定の情報はしっかり伝わっているのか、効果は出ているのかを言周べたいと思った。

調査方法 富士登山者(5合目入山ゲート前70人)と登山者ではない一般の人(県内の商業施設内61人)にそれぞれアンケートをとり、ルール改定や富士登山を安全に行うための小情報を知っているか、認識度のちがいを言周べた。

富士登山 知っておくべき知識

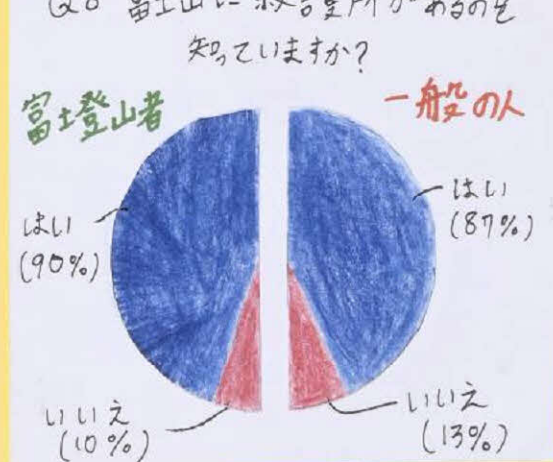
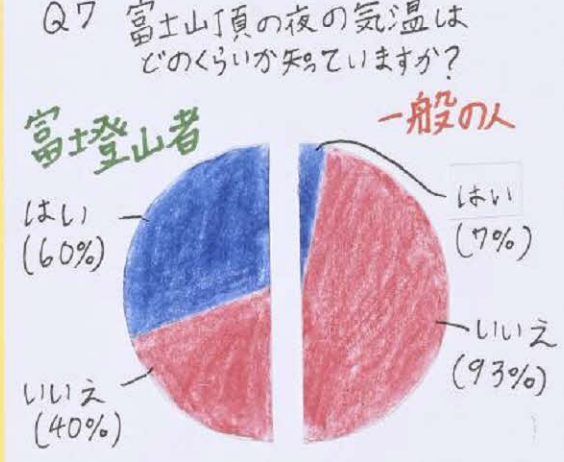
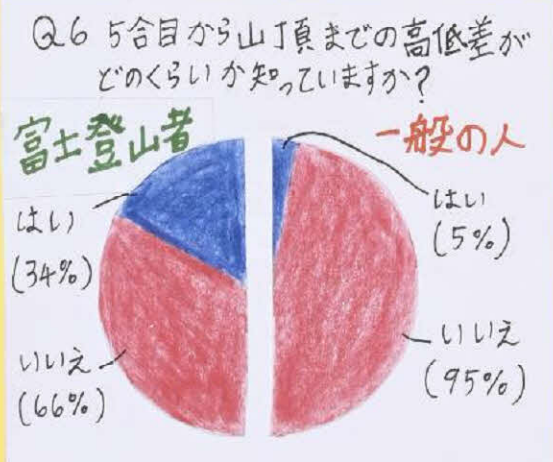
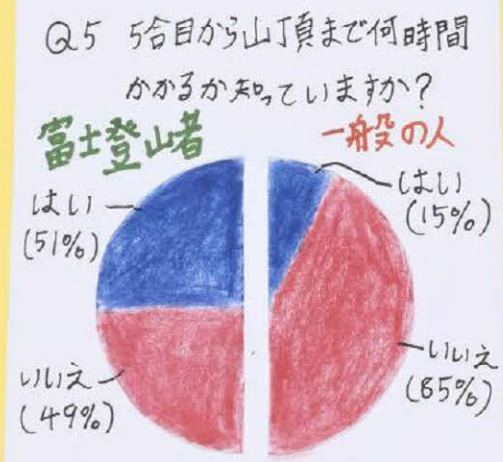
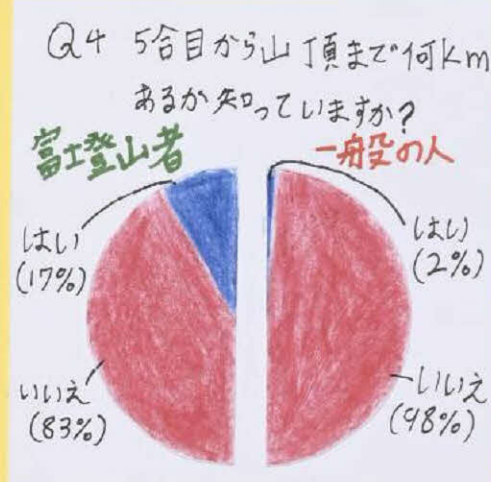
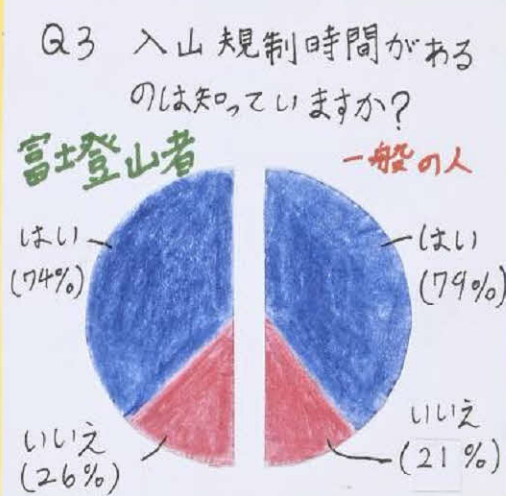
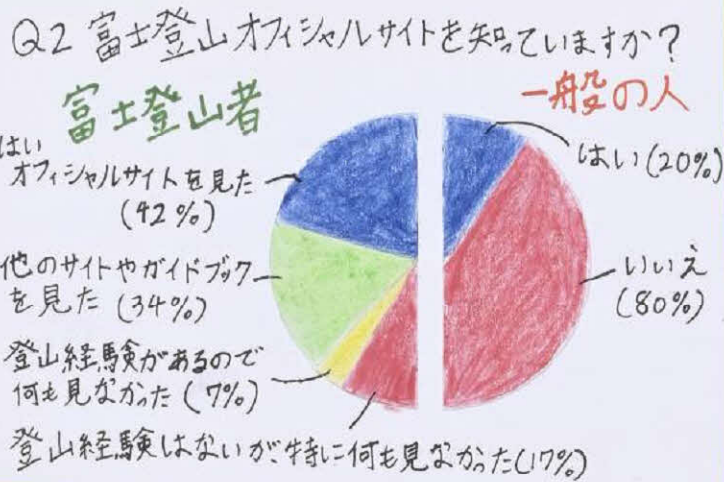
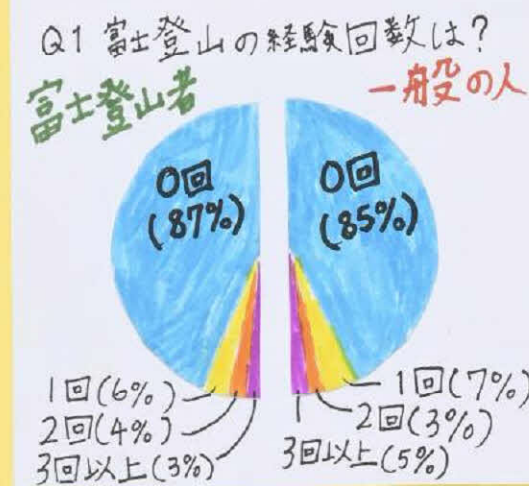
(※富士山オフィシャルサイト参考)



アンケートの結果

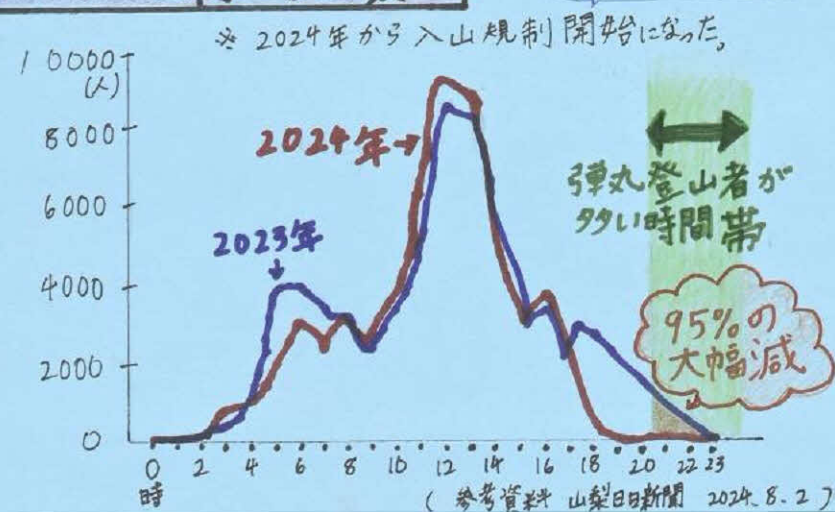
※ 令和7年 8月20日 山梨県昭和町の商業施設中 61人アンケート調べ

令和7年 8月21日 富士山5合目 吉田ルート ゲート前 70人アンケート調べ



入山規制の効果

午後4時～翌日午前3時は入山できなくなりました!



わかったこと

ルール改定により入山規制時間が設けられた事や、入山料が必要になった事は登山者も一般の方もタク知っていた。これは報道による効果が大きいと思った。また、ルール改定により登山者の安全が高まった事もわかった。一方で富士登山の道のりの険しさについては具体的に知らない人がタクいた。自分の経馬食や体力に任せて小情報収集をせずに登る人もいるように思った。山梨県の富士登山オフィシャルサイトでは様々な小情報がていねいに書かれているが、それを参考にして登山に来ている人は42%と少なかった。これから富士登山をする人に向けて富士登山オフィシャルサイトの存在をいかに知らせていくかが課題だと思った。ルールにより守られているが、登山者ひとりひとりの意識もさらに高めていく必要がある。

5合目で観察・取材した感想

登山者は外国人も含めて皆、しっかりした服そうだった。ゲート前の入山手続きもスムーズに行われており、外国人もよく理解していた。富士山レンジャーの方もたくさんいて、困った事はすぐに相談できる体制だった。実際にタクの日本人、外国人がレンジャーに質問しており、確認がとれると笑顔で登山に向かうすがたが印象的だった。中には、サンダルで登ろうとする外国人がいたが、ていねいに声かけし、反論にもきせんとした態度で対応していた。ルールを守ってもらう事が結果として登山者の安全につながっていくと思った。

＜レンジャーの活動＞

2025年7月の1か月間で630人にそうびに関する指導を行っている。このうち上下に分かれた雨具を携帯していない登山者が535人と8割以上を占めた。(参考資料 毎日新聞 2025.8.30)

＜救護所の受診者数＞

2008年の1日平均受診者数は12.87人(富士吉田市富士山課による年度別受診者数を参考)だったが、ルール改定後の2025年7月中の1日平均受診者数は6人(読売新聞オンライン2025.8.29を参考)に減少している。